

eBASEカンファレンス2011

Coop Karte Network Service
(コープ・カルテネットワークサービス)

～生協団体における仕様書点検・管理の共同化について～

2011年11月

生活協同組合連合会コープネット事業連合

■生活協同組合連合会 コープネット事業連合の概要（1）

コープネットグループとは

同じ理念とビジョンを掲げる1都7県の生協グループです（組合員数 3,811,279人）
2011年3月20日現在



コープとうきょう

さいたまコープ

ちばコープ

いはらきコープ

とちぎコープ

コープぐんま

コープながの

コープにいがた



■生活協同組合連合会 コープネット事業連合の概要（2）

コープネットグループ理念

CO-OP ともに はぐくむ くらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつのくらしの願いを実現します。

私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してくらせるまちづくりに貢献します。

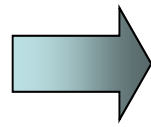
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。



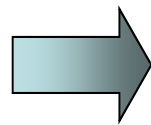
コープネットグループの事業規模(2010年度実績)

8会員生協合計の事業高は4,790億円

【主な事業】



コープデリ！宅配事業
供給高3,274億円(前年比99.8%)



店舗事業
供給高1,361億円(前年比97.3%)

コープデリとは

おいしいの、とどいたよ。



- ◆ 「コープデリ」には、たくさんのおいしさを、あなたの暮らしにお届けしたいという思いを込めています。
- ◆ 週に一度、食品を中心に暮らしを彩る商品やサービスを、ご自宅の玄関先までお届けします。
- ◆ 「おいしいの、とどいたよ」という声が、合言葉になりますように。

コープネット、コープきんきは、 今後CKNSを進めます！

- 1) この間、生協が進めてきた仕様書管理は。
- 2) この間の仕様書管理における課題は。
- 3) 新仕様書管理のシステムとして「CKNS」での管理を推進します。

1. 生協が進めてきた仕様書管理

- 1) 2005年からコープネット、コープきんきは eBASE による仕様書収集を開始しました。
- 紙ベースではなく、入力しやすいシステムをめざす。
 - テキストデータにより、他のシステムにも活用でき、自動チェック機能により作業性を向上させる。

一括表示1

名称区分 名称
名称 冷凍えびフライ

原材料名
原材料名2
内容量
期限区分
賞味期限
保存方法
販売者
製造者
輸入者
加工者
原産国
使用方法
凍結前加熱の有無
加熱調理の必要性
調理方法
使用上の注意
殺菌方法
でん粉含有量
固形量
内容総量

基本情報 原材料リスト 包装表示 製造・品質 製造工程 添付書類 確認・承認

画像一括表示
画像1 画像2 画像3 商品画像 商品画像2 商品画像3

成分値未確定 1 2 3

対象名
栄養成分表示
分析単位
※その他入力欄
1尾(1g)当り
熱量(kcal) 45
たんぱく質(g) 11.3
脂質(g) 8.0
炭水化物(g) 8.2
ナトリウム(mEq) 88

仕様管理
生協担当者名 田中 稔
発注パターン 03A5 納品パターン 5A07 仕入先コード 86 - 2 発注先コード 86 - 2 出元元コード 86 - 2

自動チェック

企業単位	JANコード	仕分区分	納品先区分	発注単位	集品組数	日生協入数	通常原価	通常売価	特売1原価	特売1売価	特売2原価	特売2売価
単品企画	4902115300012	仕分け	物流センター	1	10	ケース+最終						

2) 2006年から2009年まで①

■仕様書管理が進んだことで、対応できたこと。

①2007年6月の「CO牛肉コロッケ」の原料偽装時の関連調査、畜種コンタミの可能性調査

②2008年1月の「CO鳴門産カットわかめ」の産地不適正表示と、同様な産地偽装の確認調査

③2008年1月の「CO手作り餃子」農薬中毒事故時の関連商品調査



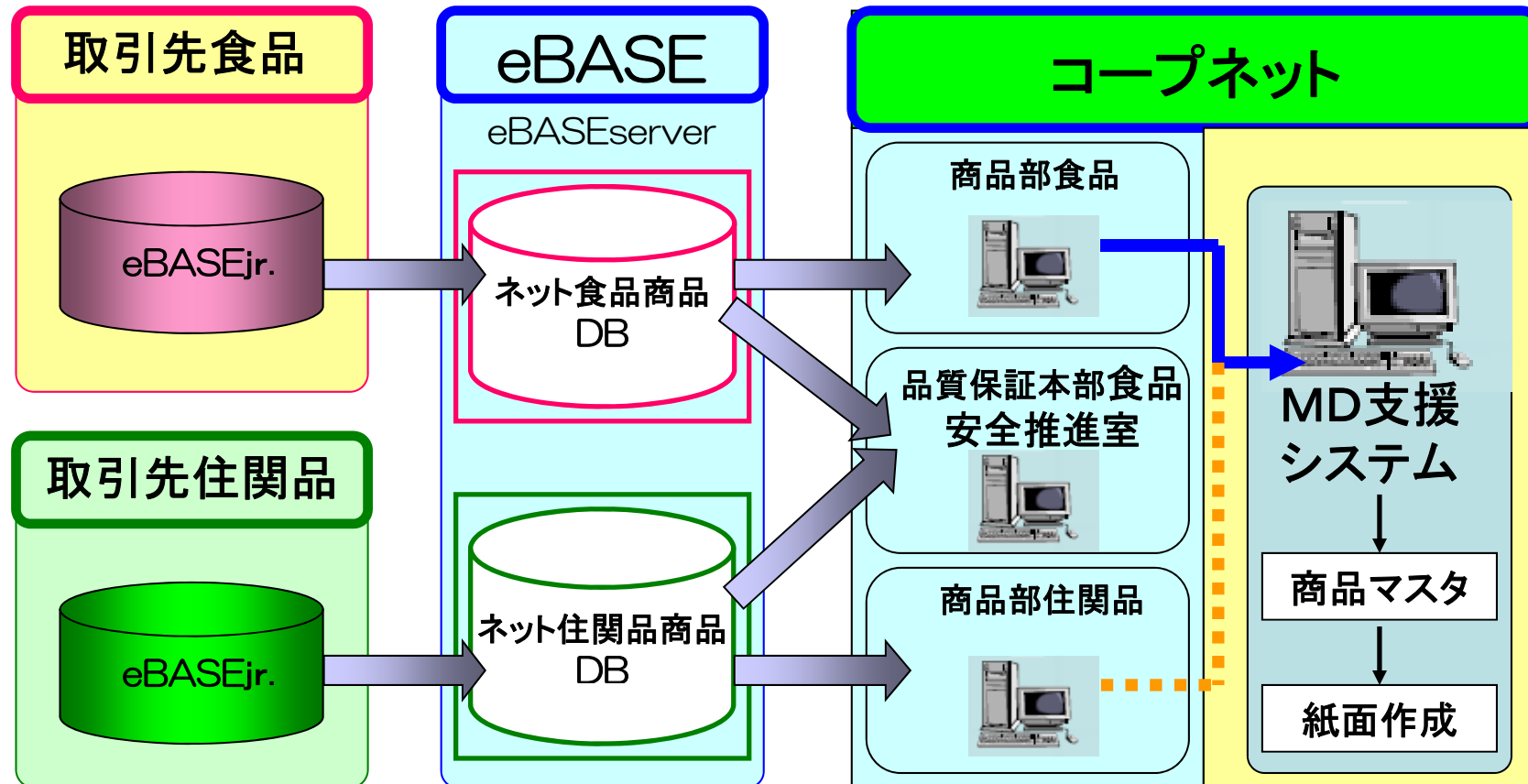
■原料調査がスムーズにできるようになりました。

□現在課題になっている原発事故の関連産地情報集約でも効果が出ています。

参考) eBASEの運用、活用イメージ

eBASEと商品企画システムの連携

宅配商品企画システムとの連携⇒2009年下期より



参考) 生協関係の導入実績

- ・ コープきんき (05年3月)
- ・ コープネット (05年4月)
- ・ CSネット (06年6月)
- ・ コープこうべ (08年3月)
- ・ コープ九州 (08年4月)
- ・ ユーコープ (08年4月)
- ・ コープ北陸 (08年9月)
- ・ 福井県民生協 (08年11月)
- ・ 東海コープ (11年1月)

* こうべはCoop' s等、PB商品の範囲で仕様書管理・Web公開。

* その他は、無店舗・食品の仕様書管理を中心に各種業務システムと連携。

2) 2006年から2009年まで②

■ 関東以西の生協でeBASEの仕様書管理が進みました。
※テキストデータの活用で、独自ツールへの取り込みや出力が可能となりました。

■ しかし こんな声が

① 生協では

.....

同じ仕様書なのに、異なる生協で同じように点検している??

② 帳合者では

.....

商流情報は別だが、生協ごとにデータをコピーしなければならない??

③ 製造者では

.....

細かな点で各生協の要求事項が異なり、結局各生協別仕様書となる??

2. 合理的にするための課題が！

- 1) 2010年1月コープネットとコープきんきで協議開始
□ドライ食品の2割強が重複している！
□同じ仕様書なら、どちらでも使えるようにしたい！

2) 課題は

①同じ入力基準にしてどちらでも使えれば！

②製造者は「商品仕様書」のみ作ればよい！

③帳合者は「商品仕様書」以外の「商流情報」のみ入力で、簡単に！

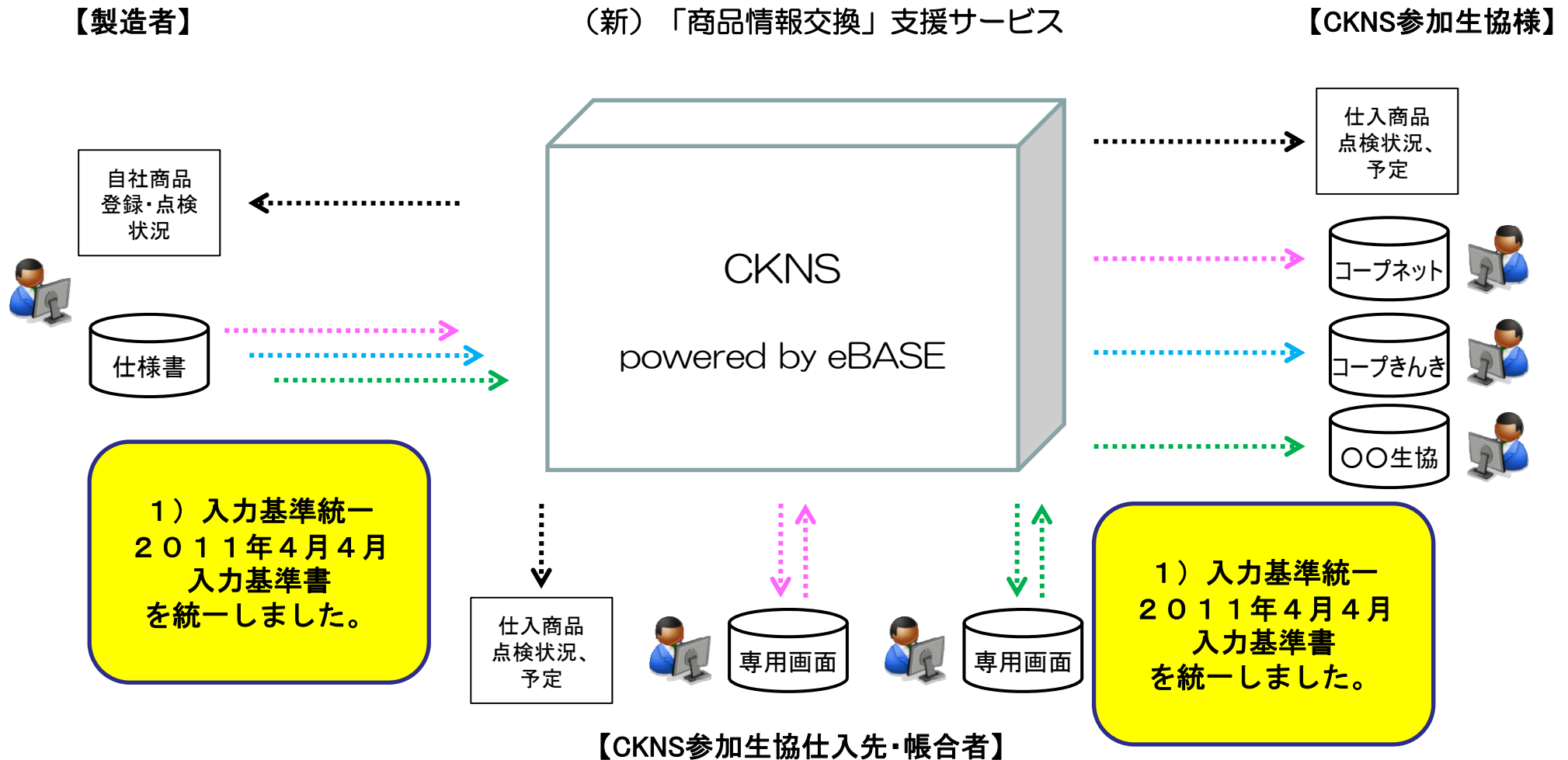
④「商品仕様書」は、今誰が見ているのか判れば！

⑤「商品仕様書」への変更要請事項は何か判れば！

3. 今回のCKNSはこれらの課題を実現！

- 1) **入力基準をコープネットとコープきんきで統一。**
2011年4月より実施
今後、他の生協でもこの基準で点検することが課題
- 2) 生協(初年度コープネット・コープきんき)、生協仕入先向けのサービスとして「商品仕様書(商品カルテ)」のデータ交換サービスを作りました。
今回の説明、2011年9月末より実施
- 3) 誰がその「商品仕様書」を「見ている」「点検している」「作成している」がわかるようにしました。
『eBワークフロー』
- 4) セキュリティを高めるため、企業者個人に「ID」「パスワード」で管理できるようにしました。

■CKNSの全体イメージと目指すもの。



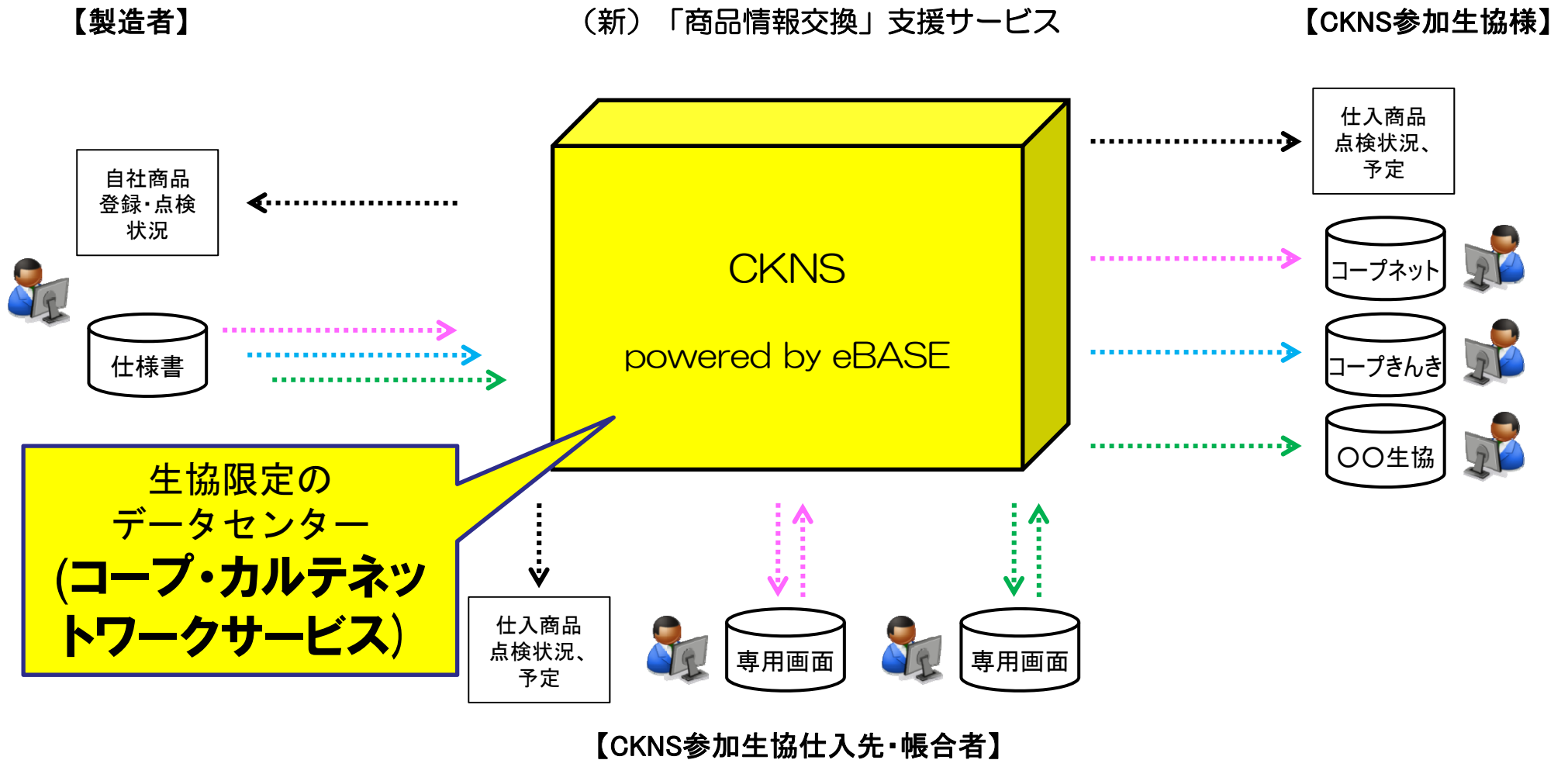
各生協「個別」の取り組みから、各生協「共同」の取り組みを目指して。

関係者全体の仕様書点検・管理業務の「さらなる」合理化、改善の取り組みとして

3. 今回のCKNSはこれらの課題を実現！

- 1) 入力基準をコープネットとコープきんきで統一。
2011年4月より実施
今後、他の生協でもこの基準で点検することが課題
- 2) **生協(初年度コープネット・コープきんき)、生協仕入先向けのサービスとして「商品仕様書(商品カルテ)」のデータ交換サービスを作りました。**
今回の説明、2011年9月末より実施
- 3) 誰がその「商品仕様書」を「見ている」「点検している」「作成している」がわかるようにしました。
『eBワークフロー』
- 4) セキュリティーを高めるため、企業者個人に「ID」「パスワード」で管理できるようにしました。

■CKNSの全体イメージと目指すもの。



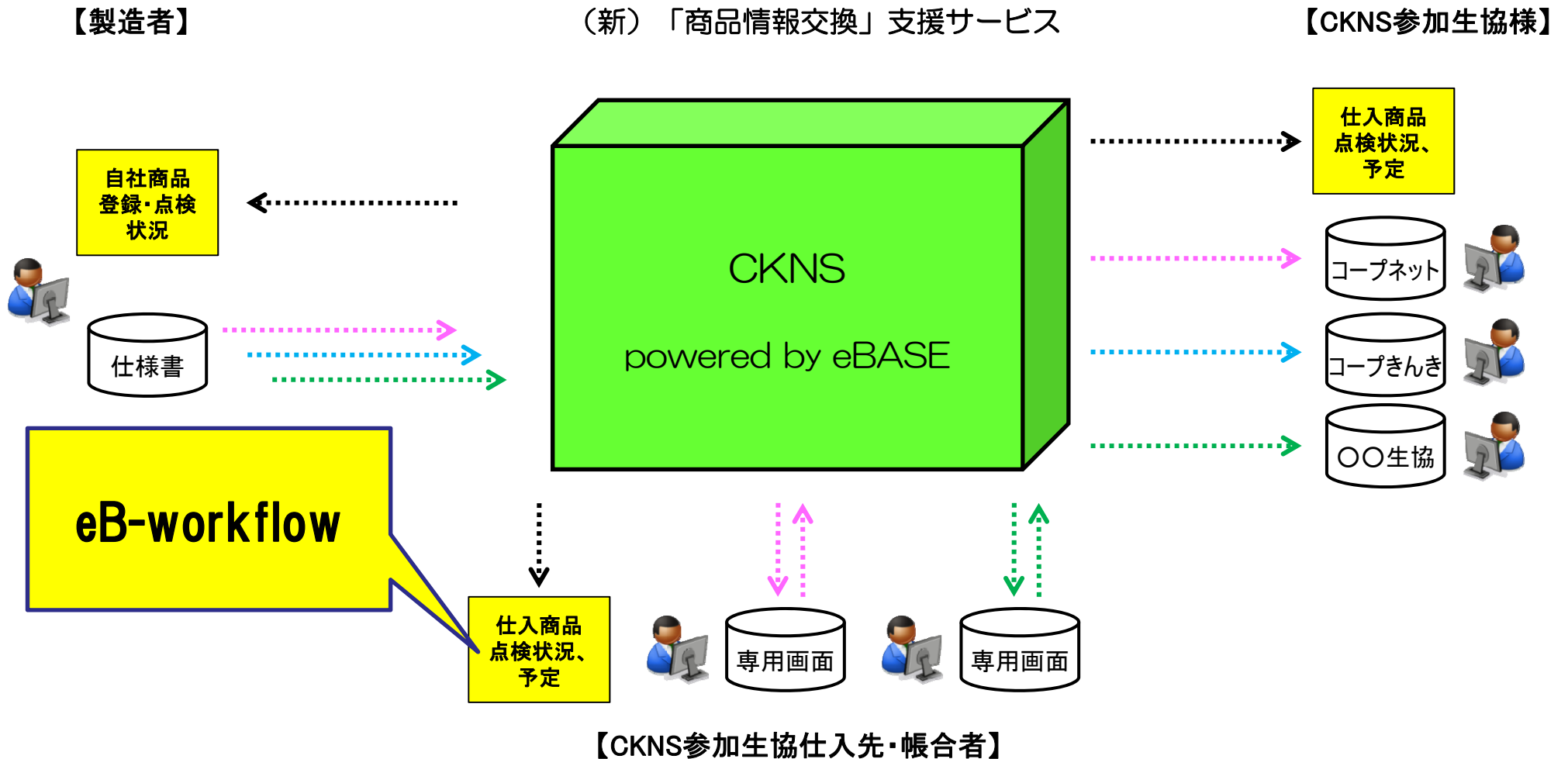
各生協「個別」の取り組みから、各生協「共同」の取り組みを目指して。

関係者全体の仕様書点検・管理業務の「さらなる」合理化、改善の取り組みとして

3. 今回のCKNSはこれらの課題を実現！

- 1) 入力基準をコープネットとコープきんきで統一。
2011年4月より実施
今後、他の生協でもこの基準で点検することが課題
- 2) 生協(初年度コープネット・コープきんき)、生協
仕入先向けのサービスとして「商品仕様書(商品カル
テ)」のデータ交換サービスを作りました。
今回の説明、2011年9月末より実施
- 3) **誰がその「商品仕様書」を「見ている」「点検してい
る」「作成している」がわかるようにしました。**
『eBワークフロー』
- 4) セキュリティーを高めるため、企業者個人に「ID」
「パスワード」で管理できるようにしました。

■CKNSの全体イメージと目指すもの。



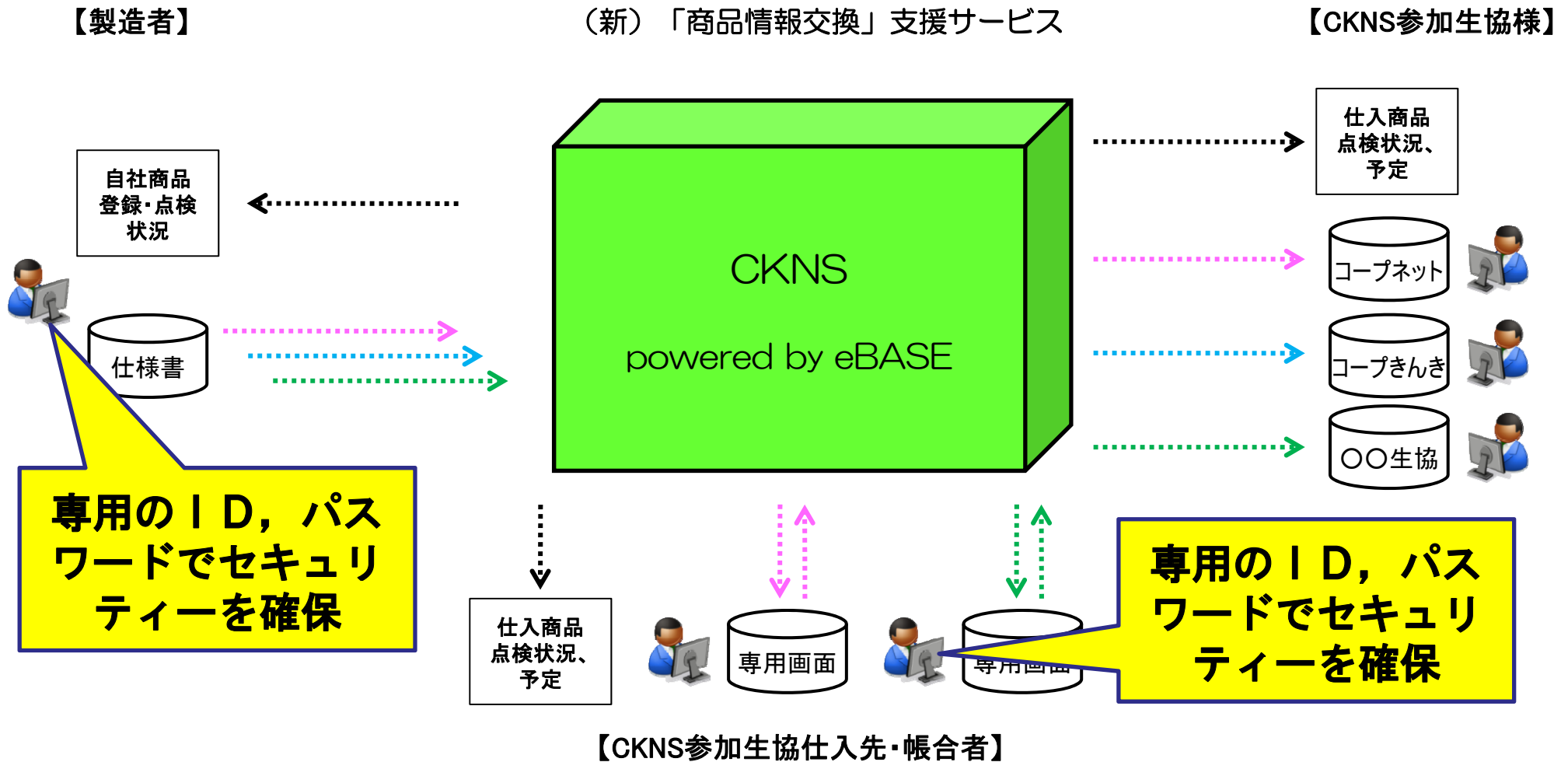
各生協「個別」の取り組みから、各生協「共同」の取り組みを目指して。

関係者全体の仕様書点検・管理業務の「さらなる」合理化、改善の取り組みとして

3. 今回のCKNSはこれらの課題を実現！

- 1) 入力基準をコープネットとコープきんきで統一。
2011年4月より実施
今後、他の生協でもこの基準で点検することが課題
- 2) 生協(初年度コープネット・コープきんき)、生協
仕入先向けのサービスとして「商品仕様書(商品カル
テ)」のデータ交換サービスを作りました。
今回の説明、2011年9月末より実施
- 3) 誰がその「商品仕様書」を「見ている」「点検してい
る」「作成している」がわかるようにしました。
『eBワークフロー』
- 4) **セキュリティを高めるため、企業者個人に「ID」
「パスワード」で管理できるようにしました。**

■CKNSの全体イメージと目指すもの。



各生協「個別」の取り組みから、各生協「共同」の取り組みを目指して。

関係者全体の仕様書点検・管理業務の「さらなる」合理化、改善の取り組みとして

CKNS(コープ・カルテネットワークサービス) を使ってデータ送信をして下さい。

- 1) 今回のサービスは、このCKNSを使用することで、「製造者」「帳合者」「生協」の作業を改善します。
- 2) CKNSは仕様書管理における『三方よし』を目指します。ぜひご参加ください。

このサービスの開始は、2011年9月26日より！